### ■比熱

比熱:物質1gの温度を1K上げるのに必要な熱量

水と空気をライターであぶったら、どちらが早く温まるか。

比熱が大きい一熱がいっぱいいる

水:あたたまりにくい、さめにくい・・・比熱が大きい

空気:あたたまりやすい、さめやすい・・・比熱が小さい

ストーブの周りはすぐ温まる

#### ■熱容量

熱容量:物質を1K温めるのに必要な熱量



水500gを温めるのに必要な熱量

1cal=4.2J 500g(質量)×4.2J(比熱)=2,100J(熱容量)

#### ■湿度

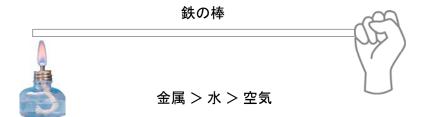
夏と冬、どちらが火災が多いか

冬は、からからに乾いて、湿度が低い。 湿度が低い方が、静電気を発生しやすい。

### ■熱の移動

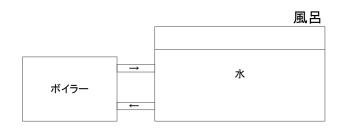
温かいコップを持つと、温かく感じる。 高温から低温熱は、伝わる。

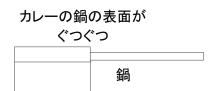
### ■熱の移動(伝導)



合わせガラスの間には、空気が入っているので熱を伝えにくい。

## ■熱の移動(対流)





# ■熱の移動(輻射)

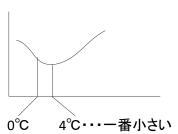


### ■物質の三態

- ・吸っている空気・・・気体
- ·黒板、机、etc·····個体
- ·水·····液体

## ■密度

## 水の密度



## ■比重

比重とは 同じ体積の水と比べて、何倍か 鉄:7.9 ガソリン:0.65~0.75

## ■融解

1gの氷を液体にするためには、80cal/g必要

#### ■凝固

液体 → 個体 凝固熱

#### ■気化

液体 → 気体 気化熱(蒸発熱)

注射の時、アルコールを塗ると冷たい。 ← この事

水分が気体に変わっていく・・・蒸発 鍋を温めたら水が気体に変わる・・・沸騰

山でラーメン・・・山の高いところでは、早く沸騰する。(100℃まで上がらないので上手く出来ない) → ハンゴウ

### ·石油精製

精製してガソリンを取り出す 温度を変えて蒸発させる 残ったものが、アスファルト

### ■凝縮

気体 → 液体 凝縮

# ■昇華

個体 → 気体 気体 → 個体 ドライアイス、ナフタリン

### ■昇華

#### 水を温めて沸騰

沸騰している間、水の温度は100℃を超える事はない。 100℃を超えようとしたエネルギーは、気化エネルギーとなる。 気体となった水蒸気が、100℃を超える事はある。

#### 氷と水

0°Cのまま、氷は解けて水となる。 0°Cより下がると氷 0°Cより上がると水

#### ■溶解

温度を上げると、水にたくさん溶ける。 温かいコーラは、キャプを開けると、吹き出す。 冷たいコーラは、キャプウを開けても、吹き出さない。

#### ■化合物

H2O: 化合物

H、O:元素記号

O:電子

02:元素

### ■物質の変化

鉄のさび

空気 O2:20% N2:80%

混合物 空気、ガソリンetc

化学変化 水O2+H2 性質が完全に変わる

物理変化 水 → 氷 蒸発して水蒸気 地味な変化 ドライアイス

### ■酸化と還元

火を起こす

燃えている → 酸化している

地味な変化 → さび(時間がかかる) → ゆっくりした酸化

酸素と結びつく反応 → 酸化 酸素を奪う反応 → 還元 水素を失う反応 → 酸化 水素と結びつく反応 → 還元

酸化と還元は必ず同時に起こる

酸化剂•還元剂

## ■金属の性質

常温で、金属は全て個体である。

水銀がある

金属は水より重火。

カリウム、ナトリウムは水より軽い

花火:金属が燃える時の色を利用。

鉄:乾燥した空気中やコンクリート中では、腐食しにくい。 鉄筋コンクリート

#### ■酸素の性質

無色、無臭酸素自体は燃えない。

■二酸化炭素(CO2)と一酸化炭素(CO)のちがい

炭酸飲料:2酸化炭素・・・毒性はない水

#### ■有機化合物化合物

有機化合物 :タンパク質・・・人間の体

石油

プラスチック

無機化合物 :炭素を含まない・・・金属や水

ガソリン、灯油、軽油、重油:炭化水素の混合物

#### ■危険物

第一類 塩類 酸化性固体 「酸素発生」「不燃性」「酸素ボンベ」 大量の水で冷却

第二類 可燃性固体 「マッチの原料」「有毒ガス」

第三類 自然発火性物質 「個体または液体」 黄リンは水中貯蔵

禁水性物質 不燃性・・・炭化カルシウム(カーバイド)

第四類 油類 引火性液体

第五類 自己反応性物質 「個体または液体」「ダイナマイト」 太陽の光があたって分解→ 爆発

酸素を持っていて事故燃焼 水による冷却

第六類 酸化性液体 「酸素発生」「不燃性」

水・・・電気を通す

換気扇

高いところに取付:高いところに煙があがるなら

低いところに取付:煙が下にたまるなら

ガス検知・・・下についている

重油・・・温室(ビニルハウス) 「重」は、どろっとしているから 温めながら使用する

■第四類

第三石油類:引火点が 70℃~200℃

燃えにくいが、一旦燃えると消火が困難

指定数量

と・・・特殊引火物 50は50とする 50 50l い・・・第一石油類 Ξ 200ℓ(水溶性 400ℓ) 50より大きい2で始まる数字は、200 2 あ・・・アルコール類 4 400l 200より大きい4で始まる数字 は、400 に・・・第二石油類 1 Ξ 1000ℓ(水溶性 2000ℓ) 400より大きい1で始まる数字 は、1000 さ・・・第三石油類 Ξ 2 2000ℓ(水溶性 4000ℓ) 1000より大きい2で始まる数字 は、2000 よ・・・第四石油類 2000より大きい6で始まる数字 は、6000 6 6000l ど・・・動植物油類 6000より大きい1で始まる数字 は、10000 1 100000

■消防法

政令 \*\*\* 指定数量以上 灯油 10000

規則

条例・・・指定数量未満 灯油 9000

貯蔵量の挿話が指定数量の1.0以上は、政令

■保安距離

住居···10㎡

学校(大学は含まない)、病院、劇場など・・・30m

重要文化財···50m

建て直しが難しいものほど、距離を取る